

再評価調査書

事業名	淀川水系 山畑川 通常砂防事業		
所在地	八尾市 大窪		
再評価理由	事業採択後 10 年を経過した時点で継続中		
事業概要	目的	人家等に直接的に土砂災害を及ぼす恐れのある溪流について、砂防施設の整備を促進し、土石流等の土砂災害に備える。	
	内容	砂防えん堤 1 基 堤高 14.5 m 堤長 68.5 m	
	事業費	全体事業費：約 4.3 億円 うち投資済事業費：約 2.7 億円 (内訳) 用地費約 2.7 億円 (内訳) 用地費約 2.7 億円 (土地単価約 2.1 万円/㎡) 工事費約 1.6 億円 工事費約 0 億円 (工事単価約 1.6 億円/基)	
	維持管理費	-	
	上位計画等の位置付け	大阪府都市基盤整備中期計画(案)	
	関連事業	なし	
	経過	計画時の想定	現時点での状況
進捗状況	事業採択年度：H7 事業着手年度：H8 完成予定年度：H10	事業採択年度：H7 事業着手年度：H8 完成予定年度：H22	用地買収の遅れと工事 進入路について、地元 調整に日時を要したた め。
		(平成 15 年度末) 用地： 100 % 工事： 0 %	
途中段階の整備効果発現状況	下流河川への有害土砂を防止し、土石流災害を防止する。	現段階ではなし	
事業進捗に関する課題	工事用進入路の確保		

事業を巡る社会情勢の変化	事業目的に関する諸状況	計画時の想定	現時点での状況	分析
		災害発生危険度 土石流危険溪流であり、 渓床には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨により土石流の発生危険性が高い。	同左	社会情勢の変化なし
事業を巡る社会情勢の変化	地元等の協力体制	市から強い要望があり、全面的な協力体制を得ている。	市の全面的な協力あり。工事着手に必要な工事用車両等の進入路確保のため、別途整備中の農道を利用すべく関係機関と調整中である。	

		計画時の想定	備 考	現時点での状況（変更点）	分析
事業効果の定量的分析	費用便益分析	計画時点では費用便益の分析手法が確立されておらず、算出していない。		<ul style="list-style-type: none"> ・ $B/C = 16.22$ 総便益 B = 63.6 億円 総費用 C = 3.9 億円 ※算出根拠 国土交通省河川局河川計画課監修 「治水経済調査マニュアル」 国土交通省河川局砂防部 「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル」 	本事業の整備による事業効果が期待できる。
	その他の指標（代替指標）				
事業効果の定性的分析	安全・安心	土砂災害による被害の軽減が図れる。	・受益者など 地域住民	変更点特になし	工事未着手のため、事業効果は現れていない。
	活力				
	快適性				
	その他	（事業毎に設定）			
自然環境等への影響と対策		砂防えん堤により、溪床、溪岸の侵食が防止されるため、堆砂敷より上流の樹木を保全できる。		変更点特になし	工事未着手のため、事業効果は現れていない。
その他特記すべき事項					